

■ 工事によるお客さまへのご迷惑を最小限とするための取組み

1. 交通規制計画の工夫

(1) 工事期間の設定

工事期間は、交通への影響の大きい他の工事や交通量が増加するお盆期間は交通規制をおこなわないように設定しております。

(2) プレキャスト製品の活用

工事期間を短縮するため、新しい床版は、現場で施工する現場打ち床版ではなく、工場で製作した床版(プレキャスト床版)を用いて工事を実施します。



現場打ち床版の施工



プレキャスト床版の施工

(3) 工事の集約による交通規制回数の抑制

本工事と併せて道路の維持修繕作業や点検作業などを実施することで工事を集約し、交通規制回数を削減できるよう工夫しています。

2. お出かけ前のお客さまへの情報提供の強化

お出かけ前に工事区間の高速道路状況をご確認いただくために、中央道リニューアル工事専用 WEB サイトにおいて、最新の交通規制および工事状況について情報提供させていただきます。

工事期間中は、土・日・祝日を中心に渋滞が予測されますので、お出かけ前に専用 WEB サイト、ポスター、リーフレットなどの情報を参考に、お出かけ時間の変更や、一般道への迂回をご検討いただき、余裕を持ってお出かけいただきますようお願いいたします。

<中央道リニューアル工事専用 WEB サイトにおける主な情報提供の内容>

(1) 工事期間中の渋滞予測の提供

交通規制の実施に伴い、迂回やお出かけ時間の変更をご検討いただけるお客さまへの情報として、工事期間中に予測されている高速道路の渋滞の位置と時間を専用 WEB サイトで提供いたします。最新の渋滞予測を随時更新いたします。

(2) 所要時間の提供

走行ルートを選択やお出かけ時間の変更をご検討していただけるよう、最新の所要時間情報を提供いたします。

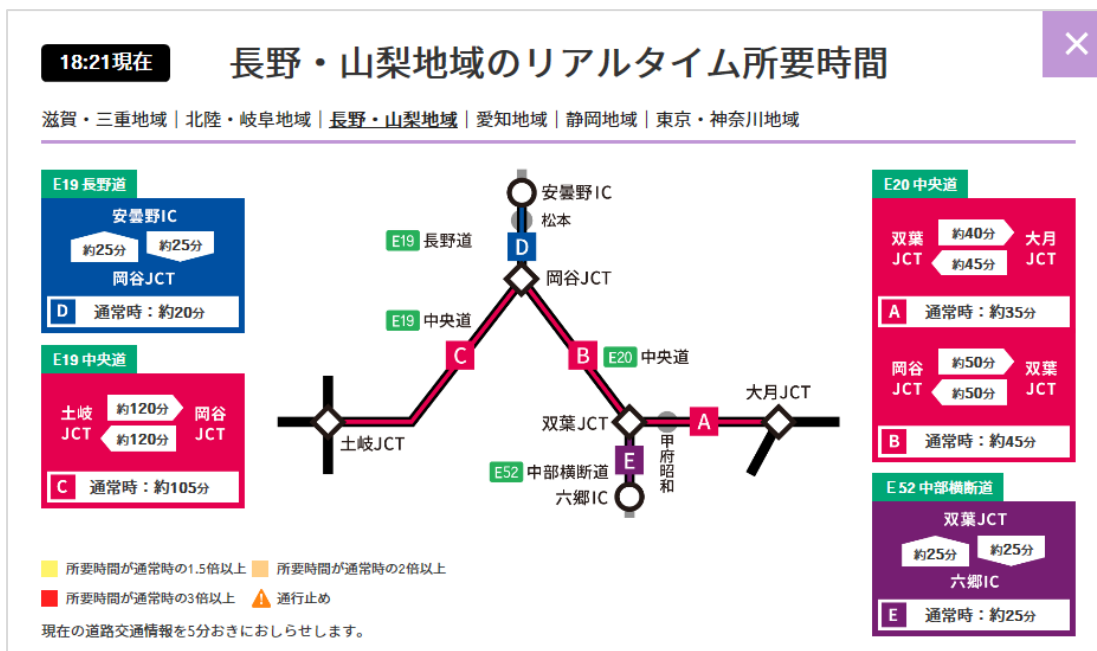
(ア) 渋滞予測を加味した所要時間検索

当社ドライバーズサイト内の料金・ルート検索より、出発 IC と到着 IC を入力していただくことで、渋滞予測を加味した所要時間をご確認いただけます。

※所要時間は、交通状況の変化などにより実際の所要時間とは異なる場合があります。

(イ) 工事区間周辺の最新の所要時間情報

工事区間周辺の最新の所要時間をご確認いただけます。



過去の工事での専用 WEB サイトへの掲載イメージ

(3) 主要な迂回ルートのご案内

土・日・祝日を中心に渋滞が予測されますので、迂回をご検討いただくためのルート情報を提供いたします。

3. 高速道路を走行されているお客さまへの情報提供の強化

(1) 高速道路上での情報強化

交通規制区間の交通情報(渋滞長や通過時間)を、仮設情報板によりお客さまへ情報提供いたします。



(仮設情報板による交通情報提供のイメージ)



(2) 一般道での情報強化

主要道路沿線の「道の駅」などに専用 WEB サイトを案内するポスター・リーフレット・仮設情報板などを設置します。

■ 安全に高速道路をご利用いただくための取組み

1. 工事規制箇所や渋滞末尾での追突事故の防止

(1) 渋滞末尾警戒車の配置

交通規制箇所や渋滞末尾での追突事故を防止するための注意喚起として、交通規制箇所の手前または渋滞末尾付近の路肩に渋滞末尾警戒車を配置します。



渋滞末尾警戒車の配置例

(2) 対面規制区間の規制テーパー部の事故対策

2車線から1車線に車線数を変更する区間(規制テーパー部)に、視線誘導となるLEDライトを設置し、光の流れにより安全な速度での走行を促します。また、夜間の視認性を向上させるため、照明を設置します。



視線誘導の設置例



テーパー部照明の設置例

(3) 事故発生時の早急な対応

きめ細かな情報提供とお客さまの安全のために交通規制区間に設置した渋滞計測機器を活用し、24時間体制で道路状況を監視するとともに、仮設情報板や渋滞末尾警戒車でお客さまへリアルタイムの情報をお知らせします。また、非常駐車帯を設置することにより、車両故障や事故の際の駐車スペースを確保します。



24時間監視の実施例



非常駐車帯の設置例

■ 高速道路のご利用にご活用いただける各種情報のご案内

リニューアル工事に関する各種情報を、テレビ CM、ラジオ CM、ポスター、リーフレット、目で見えるハイウェイテレホン、中央道リニューアル工事専用 WEB サイト、横断幕、立て看板、デジタルサイネージ(MIB)などによって、事前にお知らせいたします。

また、工事期間中には、中央道リニューアル工事専用 WEB サイトのほか、ハイウェイラジオ、目で見えるハイウェイテレホンなどでも工事規制情報を提供させていただくとともに、情報板、路上標識、標識車を活用して、交通規制情報の提供や安全に走行いただくための注意の呼びかけをおこないます。

高速道路を走行される際には、これらの情報を活用し、安全に走行していただきますようお願いいたします。

なお、自動車運転中のドライバーの携帯電話の使用は法律で禁止されています。ご利用の際はサービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)にてお願いいたします。

(1) 中央道リニューアル工事専用 WEB サイト

中央道リニューアル工事専用 WEB サイトを開設し、工事計画情報、工事進捗状況、工事規制区間の所要時間情報をお知らせいたします(専用 WEB サイトは 4 月上旬開設予定です)。

<https://restriction.c-nexco.co.jp/ccrn-22sa>

■ 検索例



(2) NEXCO 中日本公式 WEB サイト

通行料金など高速道路に関する各種情報をご確認いただけます。

<https://www.c-nexco.co.jp>



(3) みちラジ(スマートフォンアプリ)

高速道路の渋滞・事故・通行止めや所要時間情報などを、走行中のお客さまの位置情報をもとに、あらかじめ設定したスマートフォンに明瞭な音声でプッシュ通知※によりお知らせする情報通信アプリです。(日本語・英語・中国語(簡体字)・韓国語の 4 カ国語に対応)

出発前にアプリを起動すれば、走行中の画面操作は一切不要です。なお、道路交通法により、走行中の運転者による携帯電話の使用は禁止されています。

※プッシュ通知とは、機器を操作することなくアプリが自動的にお知らせを発信する機能



画面イメージ
(アプリ起動時)



画面イメージ
(音声受信時)

通行止めの情報です。
○○インターから●●インターまでの間で、事故のため、通行止めになっています。

所要時間の情報です。
現在、次のインターから○○インターまで、△分ほどかかっています。



動作推奨 OS

iOS 12 以降 ※iPad ではご利用になれません。
Android 8.0 以降

(4) 日本道路交通情報センターの道路交通情報

道路交通情報 Now!! (<https://www.jartic.or.jp/>) や電話で道路交通情報をご確認いただけます。

電話番号 全国統一番号 050-3369-6666(携帯短縮ダイヤル「#8011」)

※全国どこからでも、最寄の情報センターに接続します。

(5) Twitter NEXCO 中日本 名古屋支社 公式アカウント

愛知県・岐阜県・三重県・長野県・滋賀県を中心とした高速道路情報を発信しています。

https://twitter.com/c_nexco_nagoya

(6) i Highway 中日本

全国の高速道路交通情報を携帯電話の WEB サイトを利用して、地図や文字でご確認いただけます。また、通行止めの発生または解除の際にメールでお知らせする「マイルート機能」などをご利用いただけます。



<https://www.c-ihighway.jp/>



(7) 目で見えるハイウェイテレホン

主要高速道路情報を、携帯電話の WEB サイトでご確認いただけます。

なお、運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。携帯電話をご利用の際は SA・PA でお願いいたします。

<http://c-nexco.highway-telephone.jp/main/>



(8) 高速道路上で入手できる道路交通情報

- 道路交通情報板
- 本工事専用特設情報板(路肩 LED 情報板)
- ハイウェイラジオ(1620kHz)
- ハイウェイ情報ターミナル(SA・PA に設置)
渋滞情報をテレビ画面で、わかりやすくお知らせいたします。
- VICS
VICS 対応ナビゲーションなどで、道路交通情報をご確認いただけます。

(9) その他

- 道路緊急ダイヤル
高速道路をご利用中に「故障車」や「落下物」、「道路の損傷」などを見つけたら、『#9910』道路緊急ダイヤル(通話料無料)にお電話ください。
なお、事故の通報は 110 番までお願いいたします。

■ お願い

(1) ゆとりをもった高速道路のご利用を

工事期間中は、渋滞や迂回により、通常より所要時間が多くかかるおそれがあります。ゆとりをもった計画を立てていただき、お出かけ前には最新の交通情報をご確認のうえ、ご利用いただきますようお願いいたします。

また、天候や作業の進捗状況などにより工事期間を変更する場合があります。情報板や立看板などでお伝えしてまいります。ご利用の際は事前に通行止めや交通規制の情報をご確認くださいようお願いいたします。

(2) 渋滞末尾での追突事故にご注意を

渋滞時には、渋滞の車列の中や渋滞末尾での追突事故のおそれがあります。渋滞末尾に近づいた際にはハザードランプを点灯し、後続車に合図するなどして、追突事故の防止を心掛けてください。



(3) 全席シートベルトの着用を

高速道路上の事故では、シートベルトを着用していない乗員が、衝突の反動で車の外に投げ出されて死亡する場合があります。

運転席と助手席だけではなく、後部座席も含め必ず全席シートベルトの着用をお願いいたします(2008年6月1日から道路交通法が改正され、後部座席のシートベルトの着用が義務付けられました)。



(4) 高速道路上の停止車両や、車外に出ている人にご注意ください！

渋滞や故障、事故などにより停止した車両に後続の車両が追突する事故や、故障や事故などの様子を確認するため車外に出ている人がはねられる事故が多発しています。高速道路上の停止車両や、車外に出ている人に、十分ご注意ください。

※「故障車」や「落下物」・「道路の破損」などを見つけたら、道路緊急ダイヤル(#9910)で通報をお願いいたします。

(5) 高速道路上で停止した場合は

事故や故障などにより万が一高速道路上に停止してしまった場合は、ハザードランプを点灯するとともに、発炎筒・停止表示器材を車の後方に無理のない範囲で設置し、後続車へ合図してください(設置する際は車線から離れ、ガードレールなどの防護柵より外側の安全な場所を通過して移動してください)。

また、車内や道路上にとどまるのは大変危険ですので、運転者も同乗者も全員、通行車両や足元に十分に注意し、ガードレールなどの防護柵より外側の安全な場所へ避難してください。避難後は、道路緊急ダイヤル(#9910)や110番、非常電話などで通報をお願いいたします。



(6) 高速道路の逆走にご注意を

行き先や出口間違いをした際の U ターンなどにより、高速道路を逆走した車両が関係する重大事故が発生しています。万が一、逆走車両を発見した場合は、料金所や SA・PA などの安全な場所から、110 番で通報をお願いいたします。逆走車両の情報を見聞きした場合は、速度を落とし、十分な車間距離をとって、前方車両の動向を注視してください。逆走車両は追越車線を走行する傾向があります。



高速道路をご利用になる際には、標識や路面標示をご確認いただき、指定された方向への走行をお願いいたします。

また、逆走をしてしまった場合には、周囲をご確認のうえハザードランプを点灯して停止し、安全な場所から速やかに 110 番や非常電話で通報をお願いいたします。

目的のインターチェンジを行き過ぎてしまった場合は、高速道路上でバックや U ターン(転回)はせず、そのまま走行し、次のインターチェンジで降りてください。インターチェンジ出口では料金所スタッフがいるレーンをご利用いただき、料金所スタッフにお申し出ください。目的のインターチェンジまでお戻りいただけるようご案内しますので、料金所スタッフの指示に従ってください。その際の通行料金は当初流入インターチェンジから目的のインターチェンジまでの通行料金となります。

※インターチェンジの構造などによっては対応できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(7) 落下物にご注意ください！

落下物の責任は落とした人にあります。出発前や SA・PA などでの休憩時には、車両の点検をおこない、荷物を積載する場合はシートをかけてロープでしっかり固定するなど、走行中にゆるんだり、落下させたりしないようご注意ください。

落下物を見つけた場合は、安全な場所から道路緊急ダイヤル(#9910)に通報をお願いいたします。通報を受け、高速道路会社の道路管制センターが道路情報板に「落下物注意」の情報を表示するとともに、交通管理隊が落下物を回収します。

(8) 「あおり運転」は絶対にやめましょう！

前方の車に極端に接近して運転するなどのいわゆる「あおり運転」は大変危険です。

車を運転する際は、周りの車の動きなどに注意し安全な速度での運転を心掛け、十分な車間距離を保つとともに、無理な進路変更や追い越しは絶対におやめください。

危険な運転者に追われるなどした場合は、SA・PA など、交通事故に遭わない安全な場所に待避するとともに、警察に 110 番で通報してください。交通ルールを守って、思いやり・ゆずり合い運転を心掛けていただきますようお願いいたします(2020 年 6 月 30 日から道路交通法が改正され、「あおり運転」が厳罰化されました)。

(9) 早めの車線変更のお願い

工事車線規制に伴い車線が減少している箇所、追突事故や交通規制機材に接触する事故が増えています。工事車線規制をおこなう場合、規制箇所の手前から工事標識を設置していますので、工事標識を確認した場合は、早めの車線変更をお願いいたします。

なお、渋滞中は早めに合流すると交通の流れが悪くなります。渋滞中の合流時は規制箇所の先頭まで進み、お客さまが一台ずつ交互に合流する「ファスナー合流」にご協力をお願いいたします。